

文書暗号変換ソフト

khsample の使い方

1) 著作権と免責

著作権は、(有) がる一だ により保護されています。

Copyright · Since 2020 (有)がる一だ All Rights Reserved.

本ソフトを利用したことによる損害に、弊社は一切の責任を負いません。

逆コンパイル等は一切禁止します。

2) 著作権と免責の同意

上記の著作権と免責に同意される方のみ利用可能です。khsample.zip をダウンロードしたときをもって、上記の著作権と免責に同意したと見なされます。

3) khsample.zip をダウンロードして展開して下さい

khsample.zip を右クリックして出る表示の **すべて展開** をクリックし、開いたウィンドウの下にある **展開(E)** をクリックして下さい。khsample.zip と同じ場所に作成されるフォルダー **khsample** のウィンドウが開きます。

ウィンドウにある **khsample.exe** の先頭のアイコンが、 **KH** であることを確かめて下さい。 でないと動きません。

フォルダー **khsample** のウィンドウ

名前	種類
 conf	ファイルフォルダー
 data1.csv	Microsoft Excel CS...
 data2.txt	テキストドキュメント
 data3.docx	Microsoft Word 文...
 sample.exe	アプリケーション

フォルダー **khsample** はデスクトップやハードディスクなど、適当な場所に任意の名前でコピーして使うことができます。

以下の説明では **khsample** の名前のままにしています。

注意

khsample.zip をダブルクリックすると、上記と同様のウィンドウが開きますが、khsample.exe の先頭のアイコンは  ではありません。このままで khsample.exe を使うことはできません。

ただし、khsample.exe を別の場所にコピーして、先頭に  のアイコンがついた  khsample.exe ができたときは、この  khsample.exe は、上記と同じように使うことができます。

以下の説明では、 khsample.exe をすべて khsample.exe と表現しています。

重要な注意

khsample.exe を起動（ダブルクリック）して、暗号を作成します。

1 度起動した khsample.exe を入れたフォルダー khsample とそのコピーは何度使っても同じ暗号と復号を作成します。

しかし、khsample.exe を起動したことのないフォルダー khsample やそのコピー、あるいは khsample.zip を再び展開して得たフォルダー khsample を使うと、すでに作成した暗号や復号と違うものになります。

従って、khsample.zip を持つ他者により暗号を解読されることはありません。ただし、暗号を作成したフォルダー khsample を消失すると、作成した暗号を元文に戻すことが不可能です。

暗号の作成に使ったフォルダー khsample のバックアップ(コピー)を作成し、消失しないように注意してください。

4) ソフトのアンインストール

ソフトをパソコンからアンインストールするには、パソコンからフォルダー khsample とそのコピーを削除してください。ただし削除の前に、パソコンから離脱できる USB メモリなどにフォルダー khsample とそのコピーを移動して、フォルダー khsample が消滅しないように注意して下さい。

5) 暗号にする元データファイルを作成して下さい

100 字以内の元データファイルを次のいずれかの形式で作成し、好きな名前を付けたファイルとしてフォルダー `khsample` に保存して下さい。

- ・テキストファイル（拡張子 `.txt` になるように保存して下さい）
メモ帳、Terapad、サクラエディタ等で作成できます。
- ・Word 文書ファイル（自動的に拡張子 `.docx` になります）
フォントや体裁は保持されません。
- ・CSV ファイル（拡張子 `.csv` になるように保存して下さい）
主に表計算ソフトウェア (Microsoft Excel 等) で作成できます。
罫線は消えます。

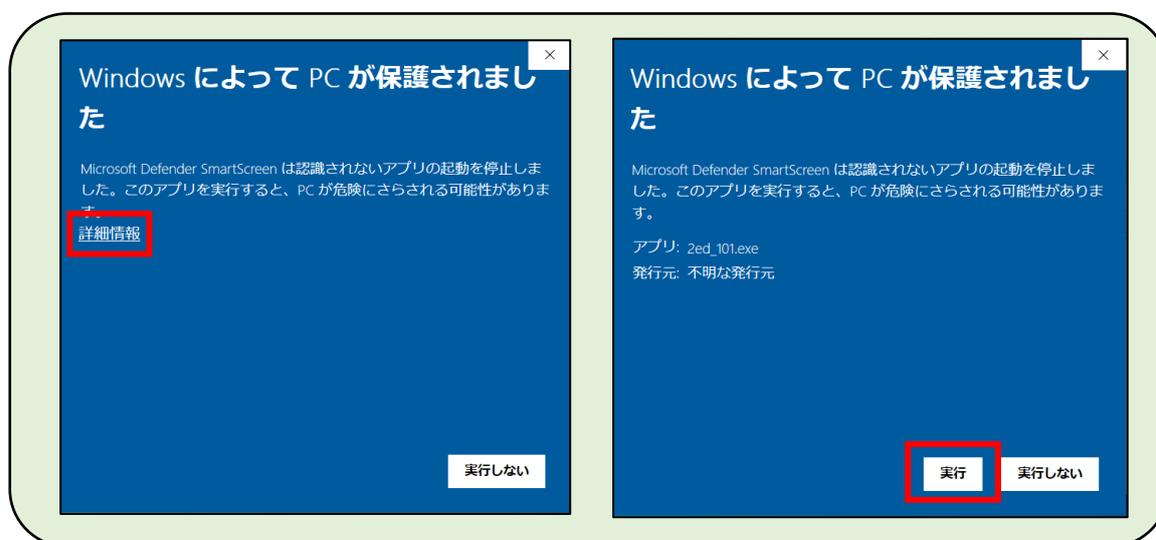
6) `khsample.exe` をダブルクリックして、メニュー画面を開いて下さい

ここでは基本的な使い方を説明します。

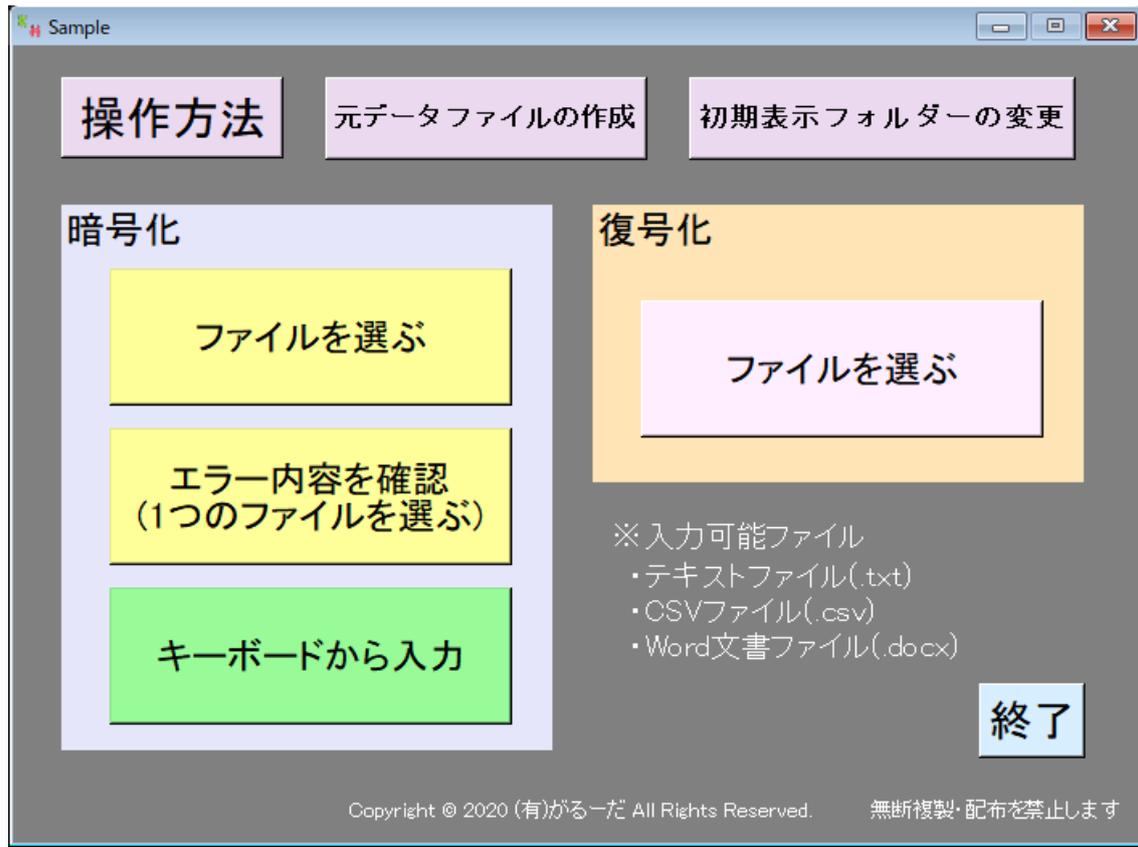
後で出るメニュー画面の 操作方法 をクリックすると詳しい説明が出ます。

なお、初回起動時は Windows のセキュリティの次の左の画面が表示されます。画面に赤四角で示した「詳細情報」をクリックすると右の画面に変わるので、「実行」をクリックすることでメニュー画面を開くことができます。

初回起動時に出る画面



メニュー画面



7) 元データファイルを暗号にするとき

メニュー画面の暗号化の欄の「ファイルを選ぶ」をクリックして下さい。

開いたウィンドウの中から暗号にする元データファイルを選択し「開く(O)」をクリックして下さい。

「暗号化実行」をクリックして下さい。

「終了」のボタンが出るのでクリックして下さい。

正常に終了した場合は「正常終了」が表示されます。

エラーが発生した元データファイルがある場合は、「一部エラー」の表示が出て、エラーのない元データファイルのみ暗号ができます。

暗号が入ったファイルは、元データファイルのあるフォルダーに次の名前で作成されます。

an_[元データファイル名]_[年]-[月]-[日]_[時]-[分]-[秒].[拡張子]

暗号にした元データファイルの確認のため、次の名前のファイルも作成されます。これは元データファイルと同じはずです。

ge_[元データファイル名]_[年]-[月]-[日]_[時]-[分]-[秒].[拡張子]

8) エラーが出たときのエラー内容を調べるとき

メニュー画面の暗号化の欄の エラー内容を確認(1つのファイルを選ぶ) をクリックして下さい。

以後は 4) と同様ですが、エラーの場合はエラー内容が表示されます。

なお、正常に終了した場合は 正常終了 が表示されます。

9) キーボードから元データを入力して暗号にするとき

メニュー画面の暗号化の欄の キーボードから入力 をクリックして下さい。

開いたウィンドウに、暗号にしたい100字以内の文字列とファイル名を入力して下さい。

暗号化 をクリックして下さい。

処理が終了したら 終了 のボタンが出るのでクリックして下さい。

正常に終了した場合は「正常終了」が表示されます。

エラーが発生した場合はエラー内容が表示されます。

作成される暗号のファイルは前述の 4) と同じです。

10) 暗号を元データに戻す(復号する)とき

メニュー画面の復号化の欄の ファイルを選ぶ をクリックして下さい。

開いたウィンドウから、元データに戻したい暗号のファイル(an から始まるファイル)を選択し、開く(O) をクリックして下さい。

復号化実行 をクリックして下さい。

処理が終了したら「終了」のボタンが出るのでクリックして下さい。

正常に終了した場合は「正常終了」が表示されます。

エラーが発生した元データファイルがある場合は、「エラー」の表示が出て、エラーの内容が表示されます。

復号されたデータが、暗号のファイルのあるフォルダーに次の名前で作成されます。

fu_[暗号データファイル名]_[年]-[月]-[日]_[時]-[分]-[秒].[拡張子]

11) 問い合わせ

問い合わせは、下記アドレスまでメールを送って下さい。なお購入した製品に関する質問は製品名と購入の年月を付記して下さい。

(有) がるーだ

E-mail

GarudaCoLtd@gmail.com